

報道関係各位

上橋菜穂子と 〈精霊の守り人〉展

2016年4月23日[土]－7月3日[日]



画像 1

佐竹美保《サグとナユグ ―混じり合う世界―》2016年

広報に関するお問い合わせ：世田谷文学館学芸部 佐野

157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10 TEL 03-5374-9111 / FAX 03-5374-9120

異世界を舞台に繰り広げられる、比類なき物語 稀代の作家・上橋菜穂子の 世界がここに！

2014年、上橋菜穂子は子どもの本における最高の賞である国際アンデルセン賞作家賞を受賞しました。日本人では詩人のまど・みちおに続く2人目の栄誉です。多様な価値観や、文化的背景の異なる人々が織りなす世界を鮮やかに描きあげる作品は、世界的に高い評価を得ています。1989年の作家デビュー後、『精霊の守り人』『獣の奏者』『鹿の王』などのベストセラーを世に送り続ける上橋菜穂子は、創作においてはプロットを作らず、自らの内なる〈羅針盤〉の動きに合わせて壮大な物語を紡いでいきます。

本展は、代表作〈精霊の守り人〉シリーズに描かれる多文化共生を軸として、その卓越した物語世界を紹介する初めての大規模展です。シリーズ関連資料や文化人類学の研究ノート、作者が本展のために語り下ろしたインタビュー映像などで作品の魅力に迫ります。単行本の挿画のほか、TVドラマ資料やアニメ、漫画化された作品も展示。異なるジャンルのクリエイターたちを刺激してやまない〈守り人〉シリーズへのアプローチもご堪能いただけます。

私たちの心の奥にある神話や伝承文学と同じように、ファンタジーや児童文学の枠をはるかに越えた、あらゆる世代に開かれた「本物の物語」がここにあります。日本語で書かれた、魂をゆさぶられる物語世界の素晴らしさ、面白さにぜひ触れてみてください。

PROFILE プロフィール

上橋菜穂子 うえはし・なほこ

作家、川村学園女子大学特任教授

1962年、東京都生まれ。オーストラリアの先住民アボリジニを研究。89年、『精霊の木』で作家デビュー。野間児童文芸新人賞と産経児童出版文化賞、米国図書館協会バチェルダール賞などを受賞した『精霊の守り人』をはじめ、『狐笛のかなた』『獣の奏者』など著書多数。2014年に国際アンデルセン賞作家賞、翌年『鹿の王』で本屋大賞を受賞。16年春より、〈守り人〉シリーズがNHK放送90年大河ファンタジーとしてドラマ化された(主演:綾瀬はるか)。



画像2
肖像1

TOPICS 見どころ

◎初の展覧会！文化人類学の関連資料を初出品

◎NHKによる最新の映像技術が作り出す体験型展示！

◎作者自身が物語世界をナビゲートする展示空間！

◎会場限定販売の展覧会図録！作家への特別インタビューを収録！

OUTLINE 概要

- 展覧会名** 上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展
- 会 期** 2016年4月23日(土)～7月3日(日)
- 会 場** 世田谷文学館 <http://www.setabun.or.jp/>
157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 TEL 03(5374)9111 FAX 03(5374)9120
- 開館時間** 10:00～18:00 *展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで
- 休 館 日** 毎週月曜日
- 交通案内** 京王線:「芦花公園」駅南口より徒歩5分
小田急線:「千歳船橋」駅より京王バス(千歳烏山駅行)利用「芦花恒春園」下車徒歩5分
- 観 覧 料** 一般 800(640)円 / 65歳以上、高校・大学生 600(480)円 /
障害者手帳をお持ちの方 400(320)円 / 中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※初日の4月23日(土)は開館記念、6月4日(土)は烏山下町まつりにより観覧料無料
※4月29日(金・祝)は65歳以上無料
- 主 催** 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館、NHKサービスセンター
- 後 援** 世田谷区、世田谷区教育委員会
- 協 賛** 株式会社ウテナ、東邦ホールディングス株式会社
- 協 力** 偕成社、新潮社、理論社、講談社、KADOKAWA、筑摩書房
香蘭女学校、日本国際児童図書評議会
- 企画協力** NHK エンタープライズ
- 展覧会担当** 世田谷文学館学芸部 宮崎、加藤

全国巡回予定

EVENTS 関連イベント

(1)

「上橋菜穂子さんとふれ合うひと時」

『精霊の守り人』の作者・上橋菜穂子さんと一緒に、物語の世界を旅してみませんか？

講師：上橋菜穂子

日時：4月23日(土) 16:30~17:30

対象：一般150名(事前申込制)

会場：世田谷文学館1階文学サロン

参加費：500円(18歳以下は無料)

(2)

「バルサになるさ 現代編」

(自然観察員のことば)

『精霊の守り人』を読んで、主人公・バルサのように生きる力を身につけよう！川に溺れた人の助け方や夜道の歩き方、野営の仕方や五感の研ぎ澄ませ方など、作中シーンを参考に、現代にも通じるサバイバル技術を楽しく体験します。

講師：須藤正男(CONE 指導員)

角銅真実(音楽家)

日時：5月22日(日) 10:30~15:30

対象：小学生30名(事前申込制)

会場：世田谷文学館1階文学サロン

参加費：無料

(3)

「バルサの食卓 対談」(食のことば)

〈守り人〉シリーズに登場する食事は、物語の魅力のひとつでもあります。「食」に造詣の深いおふたりをお招きして、物語における食事や食文化と暮らしについて大いに語っていただきます。

講師：平松洋子(エッセイスト)

西村淳(「南極」料理人・作家)

日時：6月11日(土) 14:00~15:30

対象：一般150名(事前申込制)

会場：世田谷文学館1階文学サロン

参加費：500円(18歳以下は無料)

(4)

「バルサの食卓 現代編」(獵師のことば)

『精霊の守り人』の用心棒・バルサは、戦いながら旅を続けるスーパーウーマン。彼女の肉体を支えているのは、山中で食する食材です！バルサも食べた「干し肉」の作り方や獵の仕方など、生きる力にあふれる「獵師の暮らし」を、千松さんにうかがいます。

講師：千松信也(獵師・作家)

日時：6月12日(日) 14:00~15:30

対象：どなたでも(小学生以上)150名(事前申込制)

会場：世田谷文学館1階文学サロン

参加費：無料

(5)

「春ボラ 用心棒(ボランティアスタッフ)募集中！」

展覧会会期中に開催されるイベントのボランティアスタッフを募集します。講座の事前準備や当日の講師のご案内、会場整理などを無事遂行させる“用心棒”として一緒に活動を盛り上げましょう！

対象：中学生・高校生・大学生(事前登録制)

その他：参加費無料

※この催事のみ、日時内容等の詳細・申込・打合せは、Eメール(kodomo@setabun.or.jp)でお問い合わせください。

【申し込み方法】

各イベント開催日の2週間前(必着)までに、往復ハガキ(各イベントにつき1枚)に ①講座名 ②参加希望者の名前(連名可) ③代表者の住所と電話番号 を明記のうえ、

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

世田谷文学館「上橋菜穂子展イベント係」

までお申し込みください。

託児サービス(事前申込制・有料)

6月11日(土) 13:00~16:00、

12日(日) 13:00~16:00

申込・問合せ先：イベント託児(R) マザーズ
Tel. 0120-788-222

(平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

IMAGES 広報写真



画像3
2014年、国際アンデルセン賞授賞式に際して



画像4
肖像2



画像5
肖像3 書斎にて①



画像6
肖像4 書斎にて②



画像7
『精霊の守り人』1996年、偕成社



画像8
(守り人) シリーズ全12巻、偕成社
挿画：二木真希子、佐竹美保



画像9
フィールドワークで使用したオーストラリアの地図

上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展 広報用画像貸出申込書

世田谷文学館学芸部 佐野 行
FAX 03-5374-9120

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記貸出条件をご確認のうえ、本申込書に必要事項をご記入いただき、ファックスにてお申し込みください。EメールにてJPEGデータで画像をお送りいたします。

本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、刊行・更新前に校正紙をPDF等でお送りください。また、刊行後掲載誌を1部、お送りいただけますようお願い申し上げます。

【広報用画像貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後はWEBサイトから必ず削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 _____ :

媒体種別 _____ : 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト

発売・放送・更新予定日 _____ :

御社名 _____ :

御担当者名 _____ :

御住所 _____ :

Eメールアドレス _____ :

電話番号 _____ : FAX番号 _____ :

画像（画像クレジット[画像1、3、7、8、9]は必ず付して下さい。）

- 画像1 佐竹美保《サグとナユグ 一混じり合う世界》2016年
- 画像2 肖像1
- 画像3 2014年、国際アンデルセン賞受賞式に際して
- 画像4 肖像2
- 画像5 肖像3 書齋にて①
- 画像6 肖像4 書齋にて②
- 画像7 『精霊の守り人』1996年、偕成社
- 画像8 〈守り人〉シリーズ全12巻、偕成社 挿画：二木真希子、佐竹美保
- 画像9 フィールドワークで使用したオーストラリアの地図